

第332回 番組審議会

1. 日 時 令和6年 6月 11日 (火) 12:00～
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
11F「ギャラクシー」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 8名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
佐藤 修一 (副委員長)
— 50音順 —
石田 征広
岸 真英
菅原 正二
平野 順子
八木橋 伸之
渡邊 佳隆

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)
高嶋 昇 (常務取締役営業局長)
君澤 温 (常務取締役総務局長)
櫻 克宏 (取締役報道局長)
近谷 利政 (取締役コンテンツ推進局長)
工藤 哲人 (番組制作部 副部長)

○ 事務局

岩渕 博美

4. 議題 「FNS ドキュメンタリー大賞ノミネート作品

異界と共に生きる～「遠野物語」新時代の語り部・富川岳」

放送日時：令和6年5月25日（土） 14：00～14：55

5. 議事概要

今回は、5月25日に放送した「FNS ドキュメンタリー大賞ノミネート作品 異界と共に生きる～「遠野物語」新時代の語り部・富川岳」について審議しました。

はじめに、ディレクターの工藤哲人が、番組の趣旨について「遠野を拠点に作家やプロデューサーとして活動する富川岳さんの幅広い仕事に興味を持ち、3年間追いかけてドキュメンタリー番組としてまとめた。死者の魂を身近に感じて生きる遠野の人々と、富川さんをはじめ若手のクリエイターたちとの交流を描いた。」と説明しました。

【委員からの意見】

委員からは「死者の魂が近くの山にいてお盆に帰ってくるという遠野の死生観がとてもおもしろかった」「富川岳さんは意志が強く、人を惹きつける力を持っていて、若い人からお年寄りまで、いろんな方が集まってくるのが印象的だった」「移住者の取り扱いなど地域の課題と正面から向き合いつつ、明るく取り上げた番組で、楽しく見ることができた」といった意見が出ました。

一方で、「非常に難しい番組だった」「若干、詰め込み過ぎのように感じた」という意見もありました。